

## カナダ・スコーミッシュ旅行記2010

2010年9月3日から18日まで、カナダに行って来ました。Squamishを中心に、Cheakamus Canyon、Sully's Hungout、Horne Lakeでも登りました。今回のクライミングでお世話になりました皆さんに改めて御礼申し上げます。



### 9月3日 バンクーバー

午後1時過ぎ、マンションを出発。炎天下の中、重い荷物を背負って、上大岡駅までの山越えが核心だった。

上大岡駅から横浜駅まで京急で、YCATからはバスで成田空港へ。空港では、無事に参加メンバーのFさんご夫妻、Kさん、そして、私の4人が集合。

Air Canada 004 便は 777-300 タイプの機種だったが、エコミーでも座席が横に3人ー3人ー3人掛けで、少しゆとりが感じられた。そして、8時間でバンクーバーへ到着。

レンタカーを調達して、いざスコーミッシュへ。ところが「喉が乾いた、お腹が空いた」と後部座席から声がかかり、途中でフリーウェイを降りて、街中のピザ・レストランに入った。メニューを眺めていると、下から3番目に Primavera pizza と書いてあり、これのラージサイズを注文した。Primavera はイタリア語で「春」を意味する。たくさんの野菜が散りばめられたピザを食べて、幸先良いスタートである。

そして、スコーミッシュのBさん宅へ到着。いっぱいのお土産を広げて、1年ぶりの会合を喜びあった。



"Primavera" ピザ



スコーミッシュのメインの壁 The Chief



スコーミッシュの夕暮れ

### 9月4日 Neat and Cool, Mosquite Area

曇り、時々、晴れ。風がやや強い。

Jさんはいつものように、美味しいカプチーノを時間をかけて作ってくれた。ゆったりとした流れの中で朝食を済ませ、外に出た。

ここから、Neat and Cool の岩場まで 50m 足らず。ゆっくりと岩場に向かって歩いていると、RさんとDさんが、家の玄関先から「今年もよく来たね」と手を振って喜んでくれた。

まず、易しいところからスタートする。Cat Crack .6, The Jigsaw Flow .9, Sally Five Fingers .8, Stumps .8

ここでCさんがやって来た。いつもの笑顔だ。場所を Mosquite Area に移動した。Mosquite .8 を登った後、SM's Delight 10b に取り付いた。クラックの効く方向で登っていくと、レイバックになってしまい、スタンスの薄い垂直の部分が越えられない。クラックが Y 字のボトムになっているところまで手首を突っ込んで抑えて、体の反転を止めた。Sさんに話を伺うと、ハンドジャムが効くようなら、レイバックをしないで、登った方がよいとのことだ。勉強になりました。

### 9月5日 Burgers and Fries

曇り、時々、晴れ。

朝方、少し冷えた。曇り空で風が少し吹くと、ウィンドブレーカーが必要だが、お天道様が出てくると、Tシャツで十分だ。

さて、今日のエリアは **Burgers and Fries**。お世話になっている B さんの家の庭を出ると、そこが岩場の終了点である。それを使って懸垂下降する。ここは易しいルートが多いので、ビギナークライマーがたくさんやってくる。

まず、**Bilbo Baggins .9** に取り付いた。ハンドジャムとフットジャムの練習には良いルートだ。クラックの基本の練習だと思って3回登ったが、下手なフットジャムのために足が痛くなってしまった。

次に、**High Boltage Line 10a, French Leave 10b** のスラブルートに取り付いた。細かいホールドとスタンスを使って登る。小川山の感じに似ている。

最後に、**Burgers and Fries** のメインエリアに移動して **Dusty Eyes 4** と **Catch Me Quick 10b** を登った。易しいルートをたくさん登ることで、少クラッククライミングに慣れて来たようだ。

## 9月6日 Cheakamus Canyon

曇り、時々、雨。あいにくの雨で、今日はレスト日になるのかと思いきや、Jさん達は雨でも登れるエリアに行くと言う。私達も便乗することにした。

**Squamish** から北に 20km ほど行き、右に折れて急坂を上ったところが、**Cheakamus Canyon** のエリアの駐車場だ。そこから谷沿いに歩いて5分程度で **The Circus** の岩場に到着。ボルトの打っているスポーツクライミング・エリアだ。すでに、10人程度のクライマーが登っている。

まず、**Pig Farm 5.10a** に取り付いたが、思いのほか悪い。窮屈なレイバックで切り抜けた。ここの岩質は花崗岩だが、ブロック状になっており、ホールドの効かせる方向がわかりづらい。故に、ルート・ファインディングが難しい。**Kigijushi 5.10c** はその典型的なもので、私は完全にはまった。

その後、**Boy Pie 5.8, Dark Don't Lie 5.11a, Light My Way 5.10d** を登り、終了。久々にスポーツ・クライミングを楽しんだ。



Mosquito Area, A New Route .  
11a を登る C さん



The Circus, Cut The Chase .12c  
を登る J さん



The Circus, Light My Way .10d を  
登る T さん

## 9月7日 レスト日

小雨、時々、曇り。

朝方、雲の中に晴れ間も見えており、クライミング出来るかと思いきや、パラパラと雨が降って来た。

クライミングは3日間続いているし、今日辺りはレスト日でもいいかな。。

周りの岩場を眺めると、小雨の中でもレインジャケットを着て、気合いを入れて、登っているグループもある。Sさんは登りに行きたそうだったが、他の3人の合意で **Whistler** ヘドドライブに行くことに決定。

**Whistler** に行く途中に **Brandywine Falls** に立ち寄った。私はここで浴びるほど、ブランデーやワインが飲めると思っていたが……。

## 9月8日 The Chief

晴れ、時々、曇り。

すがすがしい朝だ。青空が広がり、スコーミッシュに朝陽が射してきた。

Kさんにとってはあつという間の1週間で、明日、日本に帰国する。その前に、スコーミッシュの看板の壁であるThe Chief を登っていただかないといけない。その基部から始まる Arrowroot .10b に取り付いた。

その後、ノース・バンクーバーにあるCさんの家へ移動した。



Brandywine Falls



The Chief, Arrowroot .10b を登る  
Kさん



夕方現れた虹

## 9月9日 Sully's Hungout

朝起きて、Deep Cove の美味しい店に入って、ブレックファーストメニューにあるサンドイッチを選んだ。デリシヤス！

その後、クライミングショップで、アークトリクスのハーネスをゲット。

Kさんを空港まで送り、Cさんの近くの Sully's Hungout というエリアに出かけた。

Cさんは20分で着くと言ったけれど、それは彼女の歩くスピードという条件付き。息を切らして、岩場に着いた。

森に囲まれて、少し苔で緑がかった壁だ。登ってみると、ホールドもスタンスもしっかりとフリクションの効く有笠山のような岩質だ。

Speed Dial 5.11a, My One Muscle 5.11a, Special K 5.11a を登った。

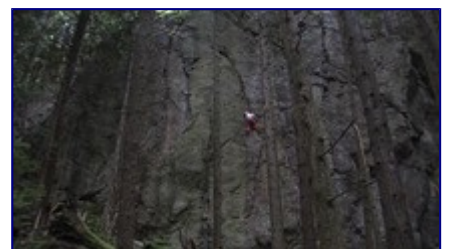
本日の夕食はCさんのスペシャルの鮭料理。とっても美味しい。しかし、レシピがあるわけではなく、味は毎回クリエイトして作るそうだ。



いつも混んでいる人気の店



蜂も寄ってくるサンドイッチ



Sully's Hungout, Special K .11a を  
登る Tさん

## 9月10日 Horne Lake

Tさんの目覚まし時計の音で、目が覚めた。バタバタとパッキングをして、7時30分にCさんの家を出発。

バンクーバー島行きフェリー乗り場に向かった。ゲートに並んで車ごと乗船。日本のように、1台1台車を固定するようなこともない。8時30分に汽笛を鳴らして離岸した。

どんよりとした天気の中、船首で受ける風は冷たかった。

1時間半後、バンクーバー島の Nanaimo へ上陸。そのまま、Horn Lake へ向かった。

フリーウェイを左へ曲がると、途中からダートの道に変わった。上部に岩壁が見えだしたところで、右の細い道

に入る。そこに駐車用の空き地があった。

30分弱、険しい山道を登ると、岩場へ到着。どっかぶりの石灰岩だ。

You Enjoy Myself 5.11a はガバガバで快適なウォームアップ・ルート。新しい 5.11a と 5.11c のルートに登った後、Quater Century Girl 5.12a に取り付いた。このルートはまず大きなコルネを登り、そして、小さなコルネの下を右上する楽しいルート。タイのプラナンを思い出す。T さんはこのルートを見事にオンサイトした。パチパチパチ！



バンクーバー島行きフェリー



You Enjoy Myself .11a を登るTさん



Quater Century Girl .12a を登るSさん

## 9月11日 Horne Lake

昨夜は Nanaimo まで戻って、安いモーテルに泊まった。

朝方は薄日が射す曇り。雨の予報が良い方向に外れて、今日もクライミング日和になりそうだ。岩場までの急傾斜の登りは厳しいが、昨日ほど辛くはなかった。岩場に着くと、すでに20人ほどのクライマーがいた。今日は土曜日なのだ。

ウォームアップをした後、昨日トライした Quater Century Girl 5.12a を再チャレンジ。S さんは見事に RP。その後、ツルツルの溝を登る Mateo Spout 5.11c に取り付いたがまったく歯が立たなかった。

天気が崩れて来て、Nanaimo からフェリーに乗って、バンクーバーに着く頃には本格的な雨になっていた。

## 9月12日 レスト

ノース・バンクーバーの C さんの家で起きると、外はシトシトと雨が續いていた。Deep Cove の例のマフィンの美味しい店で朝食をとった後、C さんの家で石鹸作り。

その後、C さんの指導によるヨガ。

「エネルギーを内に貯めて…」と始まったが、初心者向けを乗り越えて中級者向けに入るような内容。結構、体に応えた。

夕方、C さんの家を出て、この春に日本でお会いしたスコーミッシュの P さんの家に向かった。もう暗くなっていたので、番地の確認に戸惑ったが、P さん自ら家の外で出迎えていただき、やっとで到着。一昨日から続いた雨は上がり始めていた。

## 9月13日 Penny Lane

雨が上がり、すがすがしい朝だ。2日間降り続いた雨で The Chief の大岩壁は濡れていた。

P さんが The Chief の白くなっている部分を指して、「Dancing Bear だ」と語ってくれた。そう思っていると、本当に Dancing Bear のように見えてしまう。また、ある人は魔法使いのように見えるともいっていた。

青空の下、Penny Lane 5.9 に取り付いた。きれいなクラック・ラインだが、ムーブが色々あって、私にとっては難しい。

その後、トップロープにして、Crime Century 11c をトライしたが、まったく歯が立たなかった。

次に、Climb Punish 10b をトライ。核心の一手が遠く、難しい。

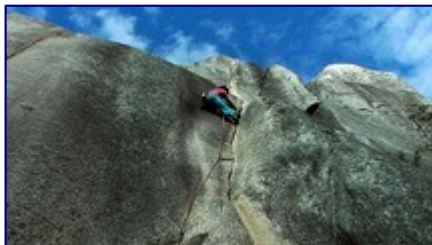
体が萎えてしまったところで、Health Hazard 10aをリードで取り付いた。去年はトップロープで登っていたので、スポーツ・クライミング・ルートと思っていたが…。2本目のボルトにクリップしたところで、動けなくなってしまった。そのまま、テンションをかけて降りて、もう一度、ギア1セットを持ってトライ。眠気が吹っ飛んだ。

7時半を過ぎて遅くPさんの家に戻ると、Tさんが心配してドアの外で待ってくれていた。すみません、ご心配をおかけして。

Tさんは巻き寿司など日本食を作っていた。ありがとうございました。



Climb Punish .10d を登るSさん



Penny Lane .9 を登るTさん



Tさんのハンドメイドの寿司

## 9月14日 Octopus Garden

Smoke Bluffs の上部に、良いクラックエリアがありそうなので、行ってみることにした。

20分弱歩くと、森の中に、忽然と岩場が見えて来た。ここが Octopus Garden だ。

まず、このエリアの看板ルートである Octopus Garden .8 に取り付いた。ハンドジャムとフットジャムの練習に良いルートだった。

次に、Pipe Dream .8 を登ったが、こちらはヒール アンド トゥーがぼつちりと効いた。このルートを登れないというバンクーバー在住の韓国人カップルが居合わせたので、Sさんがこのテクニックを教授。このカップルは昨年私達を見たと言い、来年もまた会いましょう、と言って帰って行った。

そして最後に、Unearthly Delights .9 と Electric Balls 11b を登って終了。

当初、明日は Angel Crest を登ろう、と言っていたのだが、体全体が疲れ果てて、明日は様子を見ようということになった。

## 9月15日 レスト

朝、起きると、サーッと雨が降って来た。全員一致で、今日をレスト日にすることに決定。

昼頃から、バンクーバーのマウンテン・ショップに出かけた。このショップの屋上に駐車場があるので、ここに止めて、1時間 1.5ドルのチケットを買った。

ショッピングを終えて戻って来ると、赤紙がバンパーに挟まれていた。確かにショッピングに2時間ほどかかってしまったので、時間超過してしまったのだ。超過料金を数ドル払えばいいと、たかをくくっていたのが大間違い。なんと 69ドルの罰金。そして、腹が立つことに、1週間以内に払えば、34ドルにディスカウントするという書き方だ。

Jさんに聞くと、バンクーバーは駐車に対して非常に厳しいとのことだ。あーあ。業に入れば業に従わなければ…。高い授業料となった。

## 9月16日 Murrin

青空が見えて来て、今日はクライミング日和になりそうだ。まだ、行っていない Murrin エリアに向かった。

駐車場を降りると、すぐに The Bog Wall があり、簡単そうなクラックがあるので、すぐに取り付いた。

### Up From The Bog .8, Black Butterfly .9

どちらも自分でプロテクションを取りながらリードをすると、トップロープで登る場合に比べて倍以上の力が入っ

てしまう。易しいところをたくさんリードして、経験を積みたい。

**Browning Lake** の横を通って、**Petrifying Wall** に向かった。

このエリアに入ると、垂壁の高さに圧倒されてしまった。まず、いきなり **No Name Road 11b** に取り付いたが、70m ロープを使ってもぎりぎりでしか降りて来れない。下部のランプ部分はまだ1本のロープが必要だ。ランプ部分にボルトはないが、結構しょっぱい。Sさんはワイヤーナッツを数個かませてランプ部分をクリア。

そして、ボルトのあるラインに入った。花崗岩特有のカチがずっと続き、なかなかレスト出来ない。核心を越えて、やっとでガバだ。まだルートは3分の1以上残っている。

そして、最後にハング越えだが、ガバは非常に遠い。リーチのない人は左からマントリングで越えて行くしかない。終了点まで着いて降りて来ると、10分ぐらいは動きたくなかった。でも、このエリアを代表する素晴らしい入門ルートであることに変わりはない。



Octopus Garden .8 を登るTさん    Up From The Bog .8 を登るTさん    No Name Road .11b を登るSさん  
9月17日 **Penny Lane, Ronin's Corner**

晴れ。今日はこちらへやって来て、一番暖かい日だ。

まず、**Penny Lane** のエリアへ向かうが、少しの上りでも足を挙げるのが億劫だ。やはり、疲れが溜まっている。

Sさんは「クラックにウォーミングアップなんてない」と言っていて、いきなり **Partners In Climb 11a** に取り付いた。核心は両手が左に効くホールドの体勢で、両足をフットジャムを効かせながら登る。Tさんは「5年ぶりにこのルートに取り付いた」と言いながら、簡単に登ってしまった。さすがだ。

次に隣の **Ronin's Corner** エリアへ移動。

**MCM .6, Magical Child .8** を登った後、**Elephantiasis 10c** を登った。斜めに走るきれいなクラックラインだが、下部は濡れており、上部は痛いほどハンドジャムとフットジャムが効く。私はここで無理をし過ぎて、左の首の付け根を痛めてしまった。もちろん、この2週間余りのクライミングの疲労も溜まっていたのかもしれない。無理をしないことに決めた。

9月18日 **Penny Lane**

昨夜はPさん、Tさんも集まって、**Farewell party** を催していただいた。料理は天ぷら、肉じゃが、豚の角煮などの日本食を作った。

というわけで、雨が降っていた朝はのんびりとして、荷物のまとめや、部屋の掃除などを行い、午後2時ぐらいかから、**Penny Lane** に向かった。

私は昨日の首痛でレスト。SさんとTさんは **Penny Lane .9** を登ってクラックの状態を確かめた後、**Partners In Climb 11a** を再トライ。Sさんは見事にRP。今回最後のクライミングを有終の美で締めくくった。パチパチパチ！

今回もまた、スコーミッシュやその近辺の岩場でお会いし、お世話になった皆様に心より御礼申し上げます。



Elephantiasis .10c を登るSさん



Partners In Climb .11a を登るSさん



The Chief の壁の白い部分はダンシング・ベアのようにも、魔法使いのようにも見える(真ん中の白い部分は脚色している)